

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市泉一丁目計画新築工事	階数	地上11F
建設地	海老名市泉一丁目1009番1、1010番2、1011番5、1012番1	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年10月8日
敷地面積	1,984 m ²	作成者	(株)アート総合企画一級建築士事務所
建築面積	494 m ²	確認日	2024年10月8日
延床面積	4,466 m ²	確認者	(株)アート総合企画一級建築士事務所

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.1 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★ BEE=1.0	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.6	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.2
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺の居住環境、日影の配慮として、建物周囲に植栽を設け、敷地境界から建物位置をできる限り離隔を取るよう努めました。	その他 0	
Q1 室内環境 住宅部分について、断熱等性能等級4とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4、BEI=0.81としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用している。	LR3 敷地外環境 LCCO2排出率79%とし、光害抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される